

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実施状況及び効果検証

No	事業名称	担当課	事業概要	区分	事業始期	事業終期	総事業費 (円)		事業実績 (実施状況)	事業効果
								うち交付金 充当額		
1	救急活動時における感染拡大防止対策事業	防災課	救急活動における感染拡大防止対策の徹底、消防活動時における一般市民への二次感染拡大防止対策	通常分	R3.7	R3.10	1,160,000	1,054,000	下球磨消防組合の救急活動時に必要な感染症対策物品の購入費用を構成市町村で負担するもの。 負担金2,506,959円×負担率46.3%＝1,160,000円 うち交付金充当1,054,000円	消防署において、感染症対策物品を配備したことで、救急活動、消防活動の実施にあたり、感染症拡大防止に寄与した。
2	人吉市行政事務オンラインミーティング活用事業	情報政策課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため外部機関との対面での打ち合わせを削減するため、オンラインでのミーティングの環境を整えるもの。	通常分	R3.7	R3.9	461,230	461,230	Web会議用パソコン一式461,230円	会議室にWeb会議用のパソコン・モニター等を導入することにより、感染機会の削減を図ることができた。
3	公共的空間・安全確保事業（乳幼児健診・市民検診会場）	保健センター	保健事業実施時の感染予防 乳幼児健診や市民健診等を実施する際に、体調確認を行い、また飛沫感染を予防するためのもの。また、会場内を除菌するためのもの。	通常分	R3.7	R3.9	1,433,990	717,490	アクリルパーテーション18,040円×3+11,990円×8+9,075円×10+18,700円×2、オゾン発生器266,200円+222,400円×4台 うち交付金充当717,490円	乳幼児健診や市民健診時、問診・保健指導の際の飛沫感染対策としてパーテーションを活用し、オゾン発生器を使用することにより会場一帯の飛沫感染対策に繋がっている。（R3:事業実施に際して、クラスター等の発生なし）
4	人吉温泉観光協会補助金（ビジターセンター運営事業）	商工観光課	新型コロナウイルスの影響や豪雨被災による観光客の激減から経営危機に瀕している宿泊施設や観光施設に、誘客を強化するため、観光情報及び地域情報を発信するとともに、防災啓発活動や、復興ソールズムの案内等を行うビジターセンターを設置する。	通常分	R3.7	R4.3	3,190,000	3,190,000	補助金 3,190,000円	市民や観光客が足の運びやすい市内中心部にビジターセンターを設置し、観光情報や復興情報の発信や防災学習、復興ソールズムの案内を行うことで誘客促進につながった。
5	密を避けたWITHコロナ対応花火大会開催及び観光応援動画制作委託事業	商工観光課	コロナウイルス感染症の影響がある中で、災害復興の応援としても花火大会を開催する。感染拡大防止の観点から無観客・時間短縮で開催することとし、代わりにインターネット配信を行う。併せてその動画を使い、人吉観光応援の動画を作成する。	通常分	R3.7	R3.10	1,000,000	1,000,000	委託料 1,000,000円	花火大会のオンライン配信は5万回以上も視聴され、それに伴いチャンネル登録者数も急増した。ネット上で大きな話題となり非常に大きな宣伝効果があった。
6	中心市街地エリア価値創出事業	商工観光課	人吉駅前の仮設商店街（モノカタウン）と、復興コンテナマルシェ及び既存の商店街をつなぐ取組を通じて復興を促進しつつ、Withコロナ・アフターコロナ時代における飲食店等が密集したエリアの活性化事業や、公共施設・公有地・民間の遊休資産等を活用した社会実験を通じて中心市街地エリアの価値を高め、コロナ禍における今後の商店街の在り方等を検討・確立する。	通常分	R3.7	R4.3	10,000,000	10,000,000	補助金 10,000,000円	人吉市復興まちづくり計画を踏まえながら、専門家と中心市街地の方々との意見交換会や令和3年11月10日には、「ひとよしの復興まちづくりを考えるシンポジウム」を開催した。意見交換会等で繋がった方々を中心に球磨川の河川改修が終了するまでの間もなりわいを止めず、暫定的に土地を活用していく方法を探るための社会実験「人吉紺屋町HITONOWAマーケット」を令和4年3月27日に実施した。中心市街地のエリア価値向上に向けた方向性を示すことができた。
7	ワーケーション創出・実証実験事業	商工観光課	コロナ禍で新しい生活様式（働き方）としてワーケーションが推奨されているが、日本全国ワーケーションとして乱立する中、より魅力的な地域として選ばれるようなプランニングを計画し、地方創生の推進を図るもの。	通常分	R3.7	R4.3	2,700,000	2,700,000	委託料 2,700,000円	本市でのワーケーション等に興味がある首都圏などの企業4社から計10名が参加し、人吉市まち・ひと・しごと総合交流館を拠点としたモニターツアーを実施し、さらなる施設活用の可能性を見出すとともに、ワーケーションを通じて関係人口の創出に寄与した。
8	雇用機会創出・リカレントリスキリング教育事業	商工観光課	飲食業や小売業を中心に3密を防ぐ環境整備やネット通販やテイクアウトに軸足を移すなど事業そのものを見直す事業者・所が増えており、IT技能を持つ人材が必要されており、スキルの乖離が一層深刻となる中、IT教育の環境を整え、IT技能を高めることで、今後雇用環境悪化による失業者が増えた場合にも、再就職にもつなげやすく、雇用の創出が広がり、将来的にDXの推進にも寄与することが期待される。	通常分	R3.7	R4.3	4,385,370	4,385,370	委託料 4,385,370円	初心者向けのHP作成教室やプログラミング教育を実施し、プログラミングの基礎を学ぶとともに、ITリテラシーを高めることができた。
9	人吉市まち・ひと・しごと総合交流館感染防止対策事業	商工観光課	感染拡大防止対策を徹底し、コロナ禍の中で浸透してきたテレワーク等の場所としての提供も促進し、安心安全にご利用いただくことを目的とする。	通常分	R3.7	R4.3	1,247,286	748,286	パーテーション15,510円×8台、非接触型体温計129,250円×2個+140,800円/個、空気清浄機21,780円/台+43,780円/台+19,580円×8台、サーキュレーター2,480円×3台+9,063円×2台+14,023円×2台、網戸8,910円×3枚+4,730円×3枚+8,580円/枚+4,290円/枚+7,590円×2枚+8,580円×2枚+7,590円/枚+8,910円×2枚+調整費4,400円、照明8,305円×10個、ペーパータオル598円/個+1,139円×6個、4,525円/個、消毒液5,217円×3個、ブラインド27,687円×8個 うち交付金充当748,286円	非接触型体温計、パーテーション、空気清浄機等の購入を行い施設に設置したことで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策につながった。
10	人吉市学校ICT整備事業（電子黒板）	学校教育課	学校ICT機器の整備 コロナ禍におけるリモート授業や教室分散授業において必要な機器で、児童・生徒の密を防ぐことを目的とする。	通常分	R3.9	R4.3	21,633,755	21,633,755	電子黒板 728,695円×5台+749,595円×24台	1学級1台の電子黒板を導入したことにより、ICT機器を効果的に活用した授業を実践していくことが可能となり、多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現することができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実施状況及び効果検証

No	事業名称	担当課	事業概要	区分	事業始期	事業終期	総事業費 (円)		事業実績 (実施状況)	事業効果
								うち交付金 充当額		
11	人吉市学校保健事業（感染予防）	学校教育課	市内小中学校の教室等に二酸化炭素濃度チェッカーを置くことで、適切な換気を行い、新型コロナウイルス感染予防に努めることを目的とする。	通常分	R3.8	R3.8	668,250	334,250	二酸化炭素濃度チェッカー 4,950円×135個 うち交付金充当334,250円	各学校の教室等に設置することにより、適切な換気を行い、新型コロナウイルス感染症の感染予防とともに、感染拡大の軽減が図られた。
12	人吉市学校保健事業（感染予防）	学校教育課	市内小中学校にアルコール消毒液を購入し、新型コロナウイルス感染予防に努めることを目的とする。	通常分	R3.9	R4.3	792,048	792,048	消毒液6,256円×28個 詰替7,711円×80個	各学校へ配付することにより、児童生徒及び教職員の新型コロナウイルス感染症の感染予防とともに、感染拡大の軽減が図られた。
13	人吉市学校保健事業（感染予防）	学校教育課	市内小中学校の出入口にAI体温検知機を購入することで、出入業者等からの新型コロナウイルスを持ちこまないようにし、児童・生徒への感染拡大を防ぐことを目的とする。	通常分	R3.8	R3.8	2,348,280	1,175,280	A I 体温検知カメラ130,460円×18台 うち交付金充当1,175,280円	小中学校の出入口にA I 体温検知機を設置することで、来校者から学校内への新型コロナウイルスの持ち込みを防止し、感染拡大を防ぐことができた。
14	公共的空間安全・安心確保事業（社会教育施設：コミュニティセンター）	社会教育課	市内コミュニティセンターを安心して利用できるようにするため、感染拡大防止・感染リスクの軽減に資する備品・消耗品を購入するもの。	通常分	R3.7	R3.10	1,278,398	640,398	A I 体温検知カメラ119,900円×5台、アルコール噴射機16,005円×5台、パーテーション8,250円×7個、空気清浄機20,130円×26台、消毒液4,378円×3個+4,609円/個 うち交付金充当640,398円	施設利用者の検温を適切にでき、効果的な感染防止対策を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症対策に係る衛生用品やパーテーション購入により、施設職員及び施設利用者の感染リスクの軽減を図ることができた。
15	公共的空間安全・安心確保事業（社会教育施設：スポーツバレス）	社会教育課	本市社会体育施設（スポーツバレス）を安心して利用できるようにするため、感染拡大防止・感染リスクの軽減に資する備品・消耗品を購入するもの。	通常分	R3.7	R3.8	579,848	290,848	A I 体温検知カメラ166,980円×3台、アルコール噴射機16,005円×4台、消毒液877円×2+13,134/個 うち交付金充当290,848円	来庁者の検温を適切にでき、効果的な感染防止対策を行うことができた。 新型コロナウイルス感染症対策に係る衛生用品購入により、施設職員及び施設利用者の感染リスクの軽減を図ることができた。
16	公共的空間安全・安心確保事業（社会教育施設：人吉歴史館）	文化課	来館者が安心して利用できるようにするため、感染拡大防止・感染リスクの軽減に資する備品・消耗品を購入するもの。	通常分	R3.7	R4.3	50,299	50,299	アルコール噴射機16,060円/台、パーテーション10,395円×2個、噴射機電池1,254円、消毒液4,065円	市内外からの人吉城歴史館来館者への感染防止を図ることで、安心して館内展示を鑑賞してもらうことができた。
17	公共的空間安全・安心確保事業（社会教育施設：図書館）	文化課	来館者が安心して利用できるようにするため、感染拡大防止・感染リスクの軽減に資する備品・消耗品を購入するもの。	通常分	R3.7	R3.8	28,380	28,380	パーテーション2,365円×12個	図書館カウンター、閲覧机にパーディションを設置することで、対面による新型コロナウイルス感染症の感染防止につながり、来館者及び職員の安全、安心に寄与することができた。
18	アニメツーリズム拠点づくりによる、ウイズコロナの旅推進事業	商工観光課	「夏目友人帳」をはじめとする、アニメツーリズムの入込客が一定数おり、アニメの聖地巡礼は、少数で市内に点在する「聖地」を回ることから、ウイズコロナ時代の旅行形態にマッチすると考えるが、現状では拠点となる場所がない。よって、情報発信の拠点を作り、観光消費単価の高いアニメ等のファン層の誘客を図り、コロナ禍における観光施策として実施することを目的とする。	通常分	R3.6	R4.3	1,069,566	1,069,566	委託料923,500円（本棚作成委託料346,500円、ポスタ揭示委託料77,000円、パンフレット印刷委託500,000円） ピクチャーレール29,480円/個、フック1,474円×6個、ハンガー2,143円×12個、ハレバネ24,326円/枚+3,331円×3枚、ポスターフレーム3,036円×2枚+2,827円×10枚、書籍13,365円	人吉まち・ひと・しごと総合交流館（くまりば）内にマンガ図書室を設置することで、観光消費単価の高いアニメ等のファン層の誘客を図ることができた。
19	防災活動（避難所）支援事業	防災課	指定避難所及び一時避難所の感染症対策	通常分	R3.10	R4.2	6,356,360	6,356,360	パーテーション16,400円×12枚+21,890円×4枚、折り畳みベッド15,180円×400個	避難所においてソーシャルディスタンスを確保するために、段ボールベッドに代わるものとして折り畳みベッドを整備し、また、パーテーションによる区画分けができる体制を整えたことで、感染症拡大防止に寄与した。
20	防災活動（消防団）支援事業	防災課	消防団詰所の感染症対策	通常分	R3.10	R3.12	2,057,770	2,057,770	空気清浄機82,150円×22台、マスク319円×220個、消毒液649円×110個、非接触型体温計4,950円×22個	消防団活動時に感染症リスクを軽減するために、詰所に空気清浄機や体温計等を整備し、感染症拡大防止に寄与した。
21	防災ポータルサイト開発等事業	防災課	新型コロナ禍における激甚災害の経験を踏まえ、人吉市復興計画に掲げる「情報伝達・避難誘導対策」のツールの1つとして、防災ポータルサイトの開発等を行うことにより、確実な避難行動を実現する仕組みを構築する。	通常分	R3.8	R4.3	21,890,000	21,890,000	構築委託料 21,890,000円	情報伝達手段の多重化を図るため、防災ポータルサイトを構築し、コロナ禍における避難所の混雑状況等の情報を集約し、住民が災害時に情報を取得しやすい環境を整備することができた。



令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実施状況及び効果検証

No	事業名称	担当課	事業概要	区分	事業始期	事業終期	総事業費 (円)		事業実績 (実施状況)	事業効果
								うち交付金 充当額		
33	情報通信技術利活用事業費補助金	情報政策課	データ連携促進型スマートシティ推進事業 コロナ禍における観光業の新たな誘客コンテンツとして照明技術等を活用するとともに、緊急時には視覚的なアラート等として避難を誘導するシステムを構築する。	通常分	R3.10	R4.2	27,975,497	14,121,497	システム構築委託料27,975,497円 うち交付金充当14,121,497円	水の手桶に、LED照明を設置し、水位と連動して変色させることで、特に夜間に不安となる河川状況を視覚的に把握することが可能となった。また、遠隔地においても、本市防災ポータルサイトを通じて河川カメラで変色状況を確認することで、河川状況を視覚的に把握可能となった。併せて、平時は、観光事業者等と連携し、コロナ禍における観光コンテンツとして、LED照明を活用することで、滞在時間の延長や宿泊客の増加を図った。
34	新型コロナウイルス感染症対策事業(福祉避難所)	福祉課	福祉避難所の感染症対策として、避難者専用のベッドや、パーティション等の備品を整備するもの。	通常分	R3.10	R4.1	1,020,644	1,020,644	ソファベッド38,390円×3台、折り畳みベッド16,967円+18,851円×2台+22,880円×2台、段ボールベッド11,660円×5個、ロールスクリーン19,140円×3個+22,880円×8個+22,770円×2個、段ボールパーティション15,400円×5個、アコーディオンスクリーン66,000円×4個、2連サンカーツ26,400円×2個、防災ラジオ12,495円/台、ポータブルトイレ18,150円×3台	福祉避難所へ備品購入したことで、災害時における福祉避難所の受入環境体制が整い、感染症対策を取ることが出来た。
35	テレワーク環境整備事業	商工観光課	コロナ禍でテレワークがニューノーマルとなり、ワークスペースの利用が増えているが、WebMTGの利用環境としては利用しづらい環境であるため、WebMTGができる環境を整備することで、ワークスペースの機能の強化を図るもの。	通常分	R3.10	R4.3	2,508,000	2,508,000	個室型ブース 2,508,000円	コロナ禍でテレワークがニューノーマルとなり、ワークスペースの利用が増えている中、個室型ブースを設置したことで、WebMTGができる環境を整備でき、ワークスペースの機能の強化を図ることができた。
36	人吉市学校ICT整備事業(端末)	学校教育課	新型コロナウイルス感染症により、オンライン事業等への環境整備を行うことが急務であり、児童・生徒の端末に加え、教職員の端末及び充電保管庫を整備するもの。	通常分	R3.10	R4.3	15,566,650	15,566,650	タブレット端末53,900円×270台+67,650円/台、充電保管庫99,000円×6台+88,000円×4台	小学校3年生以上と同じ教員1人1台端末の導入により、ICT機器を効果的に活用した授業を実践していくことが可能となった。
37	人吉市学校ICT支援事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症により、オンライン授業等への環境整備等を行う必要があり、タブレット端末等を整備したが、操作や授業内容・方法等に不慣れた教職員に対し、専門家(ICT支援員)を派遣することで、より有効的なタブレットを利用した授業を行うことを目的とし、コロナ禍における授業の在り方を確立する。	通常分	R3.4	R4.3	3,390,000	3,390,000	ICT支援員派遣委託料 3,390,000円	教員1人ひとりのICT活用指導力を向上させ、子どもたちの情報活用能力の育成と学力向上のために、学校を継続してサポートすることができた。
38	人吉市学校保健事業(感染予防)	学校教育課	児童・生徒が安心して登校できるよう、感染症予防で使用消耗品(消毒スプレーやハンドソープ)を購入する。	通常分	R3.10	R4.3	1,042,470	1,042,470	ハンドソープ7,821円×30本+7,480円×108個	各学校へ配付することにより、児童生徒及び教職員の新型コロナウイルス感染症の感染予防とともに、感染拡大の軽減が図られた。
39	公共的空間安全・安心確保事業(社会体育施設:スポーツバレス)	社会教育課	本市社会体育施設(スポーツバレス)を安心して利用できるようにするため、感染拡大防止・感染リスクの軽減に資する備品を購入するもの。	通常分	R3.10	R3.12	964,000	482,000	空気清浄機52,800円×6台、パーテーション35,700円×6枚+40,000円×7枚+51,000円×3枚 うち交付金充当482,000円	パーテーションや空気清浄機の配備等必要な感染症対策を行うことにより、施設利用者の感染リスクの低減を図ることができた。
40	公共的空間安全・安心確保事業(社会教育施設:図書館)	文化課	来館者が安心して利用できるようにするため、感染拡大防止・感染リスクの軽減に資する備品・消耗品を購入するもの。	通常分	R3.10	R3.11	256,740	128,740	空気清浄機85,580円×3台 うち交付金充当128,740円	図書館内の来館者が滞在する区域に空気清浄機を設置することで、新型コロナウイルス感染症の感染機会を削減し、来館者及び職員の安心、安全を確保した。
41	※事業取消しによる欠番									
42	学校給食用蒸気式天吊りコンテナ消毒装置専用コンテナ入替事業	学校教育課(給食センター)	新型コロナウイルス感染症対策として、学校給食にて使用のおぼんを消毒するため、消毒装置を設置するもの。	通常分	R3.10	R4.3	7,227,000	7,227,000	コンテナ消毒装置専用コンテナ 803,000円×9台	新しいコンテナに入れ替えたことにより、優れた殺菌消毒効果が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染予防とともに、衛生管理面の向上に繋がった。
43	人吉市水道事業支援金	上水道課	まん延防止措置により、不要不急の外出自粛を余儀なくされ、市内飲食店の営業時間短縮や、旅館業(温泉等の公衆浴場含む)の休業等により、コロナ禍前と比べ、水道の利用が抑制され、減収となっていることから、当該期間の減収を補填するもの。	通常分及び事業者支援分	R3.5	R4.3	3,708,848	3,708,848	まん延防止措置期間(5月、8月利用分)における水道事業減収分の補てん繰り出し金(5月利用分)1,450,175円繰り出し金(8月利用分)2,258,673円	営業時間短縮や休業等による水道料金の減収に補てんしたことで、水道事業の健全経営に寄与し、料金改定など市民へ新たな負担を防ぐことができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業実施状況及び効果検証

No	事業名称	担当課	事業概要	区分	事業始期	事業終期	総事業費 (円)		事業実績 (実施状況)	事業効果
								うち交付金 充当額		
44	人吉市公共下水道事業支援金	下水道課	まん延防止措置により、不要不急の外出自粛を余儀なくされ、市内飲食店の営業時間短縮や、旅館業（温泉等の公衆浴場含む）の休業等により、コロナ禍前と比べ、下水道の使用が抑制され、減収となっていることから、当該期間の減収を補填するもの。	事業者支援分	R3.5	R4.3	7,469,716	7,469,716	まん延防止措置期間（5月、8月利用分）における下水道事業減収分の補てん 繰出金（5月利用分）3,439,827円 繰出金（8月利用分）4,029,889円	コロナ禍によるまん延防止措置期間における下水道使用料の減収を補てんすることによって、減収に伴い厳しくなった下水道事業の経営を安定させる一助となった。
45	地域公共交通運行継続支援金	復興支援課	緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、不要不急の外出自粛を余儀なくされ、その結果、経済活動への影響を受けている地域交通事業者に対し、事業者支援金を給付し、安定的な事業が維持できるよう支援を行う。	事業者支援分	R3.10	R4.3	4,501,000	4,501,000	補助金（鉄道）1,401,000円 補助金（バス）1,600,000円 補助金（タクシー2社）780,000円+720,000円	地域交通事業者に支援金を交付することにより、地域公共交通事業の安定的な維持つながら、ひいては市民等の移動手段を確保することができた。
46	事業継続支援給付金	商工観光課	新型コロナウイルス感染症による国の「まん延防止等重点措置」の適用に伴う飲食店への時短要請や不要不急の外出・移動の自粛により、売上に甚大な影響を受けた中小事業者等に対し給付金を交付することで事業継続を支援するもの。	事業者支援分	R3.10	R4.3	14,875,000	14,875,000	給付金（110件）16,655,000円	国の月次支援金を受給した者または、令和3年度に熊本県事業継続・再開支援一時金を受給した者等、合計110件に給付し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の事業継続を支援することができた。
47	被災小規模事業者再建事業（持続化補助金）補助金	商工観光課	令和2年7月豪雨で被災し、事業再建のために令和3年度において国の「持続化補助金（2/3）」を申請し、採択された小規模事業者に対し、対象事業費の1/12を市が補助し負担軽減を図ることで、豪雨被災と新型コロナによる売上減少の二重苦に置かれている小規模事業者の事業継続と持続的発展に寄与することを目的とするもの。	事業者支援分	R3.10	R4.3	16,655,000	16,655,000	補助金（84件）16,655,000円	令和2年7月豪雨で被災し、事業再建のために国の「持続化補助金（2/3）」を申請し、採択された小規模事業者84件に対し、対象事業費の1/12（上限250千円）を補助することで負担軽減を図り、豪雨被災と新型コロナによる売上減少の二重苦にある小規模事業者の事業継続と持続的発展に寄与することができた。
48	※事業取消しによる欠番									
49	修学旅行キャンセル料補助事業	学校教育課	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う修学旅行キャンセル料の支援	通常分	R4.1	R4.3	3,258,650	3,258,650	補助金（130名）14,533円×130名 補助金（148名）9,320円×148名	新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず延期することとなった修学旅行について、そのキャンセル料を助成したことにより、保護者負担の軽減が図られた。
50	PCR検査事業	総務課	令和2年7月豪雨で被災し、全国の自治体から職員を派遣いただいているが、正月等帰省する際のPCR検査費用を負担するもの。	通常分	R3.4	R4.3	15,000	15,000	検査手数料5,000円×3件	派遣元への帰任に伴いPCR検査を実施することで感染症拡大のリスク低減に寄与することが出来た。